

□議員名：高松秀樹

1 新病院建設にかかわる地元企業活用について

論点	地元企業活用型総合評価落札方式による、条件つき一般競争入札で、新病院建設の入札が行われた結果、地元企業活用として30億円以上が地元企業に発注されることになっているが現在の状況はどうか
回答	清水建設株式会社が、これまで下請へ発注した金額については、おおよそ1億7,500万円、契約金額の約4%。そのうち市内業者への発注状況は、おおよそ1億7,200万円、発注額の約98%である。

論点	地元活用の今後の予定はどうか。
回答	各工種の工事着手前までに、清水建設株式会社と地元の建設会社が、工事請負人下請契約をした契約書の写しを添付した、下請負人届を病院局に提出してもらうこと、また、地元業者の活用の月次報告で、常に発注状況の管理をし、目標額が達成できるように努める。

2 安全安心のまちづくりについて

論点	高千帆地区南部の日の出から新生町周辺の道路や民有地などは、梅雨の時期になると毎年のように冠水してしまい、大雨や洪水の警報が出るたびに地域住民は不安のため夜も寝られない日々を過ごしている。今後どのようにして地域住民の財産を守り、安全安心を確保していくのか。
回答	第一次総合計画が終了する平成29年度末までには多少道路に水があふれても、その水はすうっと引いていく状態にまでは何とか持っていきたい。